

平成 29 年 10 月 24 日
 土地・建設産業局建設業課

施工管理技術検定の受験機会が更に拡大！
 ～2級学科試験の全種目で年2回化が始まります～

国土交通省は、若年者等の受験機会を増やすため、一部の種目で先行的に実施している2級学科試験の年2回化について、来年度より全6種目に拡大します。

国土交通省では、今年度より、2級学科試験の年2回化を土木施工管理技術検定(種別「土木」)及び建築施工管理技術検定(種別「建築」)の2種目について、先行的に実施しています。

これら技術検定などの資格取得は、若年世代にとって就職等でのインセンティブになるなど、担い手確保の観点からも効果がある[※]と考えられることから、今年6月の「適正な施工確保のための技術者制度検討会(座長:小澤一雅東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授)」でのとりまとめにおいて、他の種目についても、できる限り早期に実施することが望ましいとの提言がなされたところであり、これを踏まえ、来年度より全種目に拡大することとしました。

なお、年2回化を実施するためには、追加的に費用が発生することから、効率的な実施に努めつつ、受験者数等を踏まえた受験手数料の見直しについても検討していく予定です。

※高校在学者等の若年世代以外の方も受験可能

○来年度(平成30年度)の2級技術検定の概略スケジュール(予定)^{※1}

	1回目(学科)			2回目(学科・実地)		
	申込受付	試験日	合格発表	申込受付	試験日	合格発表
土木 ^{※2}	3月頃	6月	7月	7月頃	10月	翌年2月(学科・実地) 翌年1月(学科のみ)
建築 ^{※3}	3月頃	6月	7月	7月頃	11月	翌年2月(学科・実地) 翌年1月(学科のみ)
電気工事	3月頃	6月	7月	7月頃	11月	翌年2月(学科・実地) 翌年1月(学科のみ)
管工事	3月頃	6月	7月	7月頃	11月	翌年2月(学科・実地) 翌年1月(学科のみ)
造園	3月頃	6月	7月	7月頃	11月	翌年3月(学科・実地) 翌年1月(学科のみ)

	1回目(学科・実地)			2回目(学科)		
	申込受付	試験日	合格発表	申込受付	試験日	合格発表
建設機械	3月頃	6月(学科) 8～9月頃(実地)	8月(学科) 9月(実地)	10月頃	翌年1月	翌年3月

※1 平成30年度の技術検定の実施に関する詳細については、年内に官報でお知らせする予定

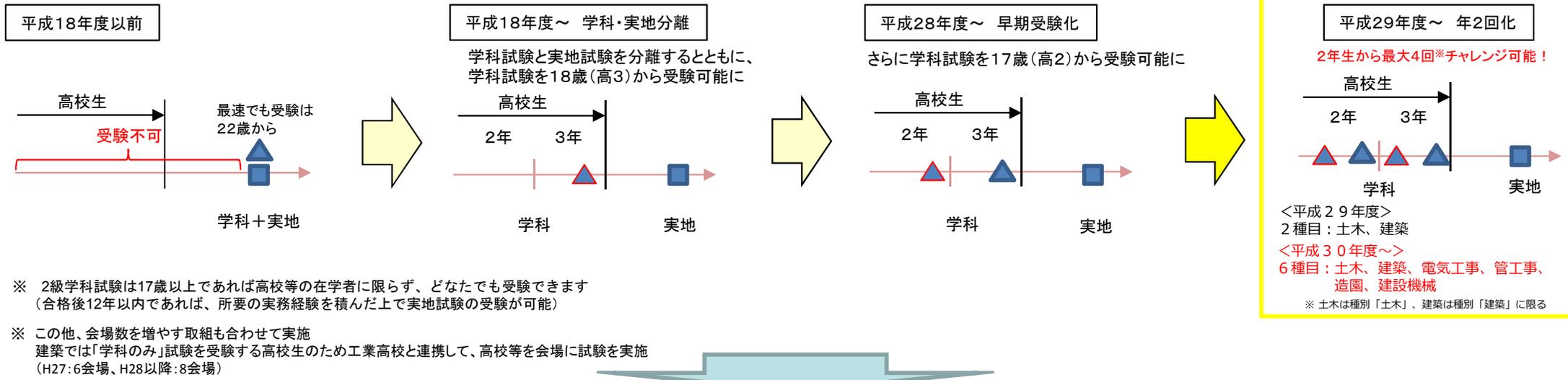
※2 2級土木施工管理技術検定については、種別「土木」のみ学科試験年2回化を実施予定

※3 2級建築施工管理技術検定については、現在、学科試験の種別統合に関するパブリックコメントを実施しており、改正が行われれば、3種別(「建築」「躯体」「仕上げ」)について、共通の試験として実施予定

<お問い合わせ先>

国土交通省 土地・建設産業局 建設業課 佐々木(24-733)、高木(24-744)
 TEL: 03-5253-8111(代表) 03-5253-8277(直通) FAX: 03-5253-1553

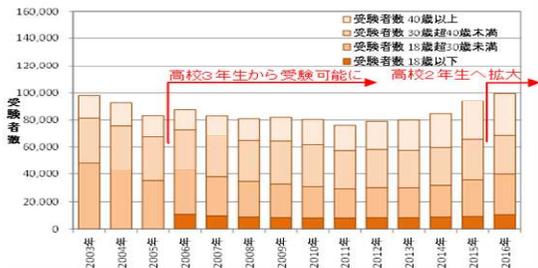
◆若年世代の受検促進の取組（2級技術検定制度の見直し）



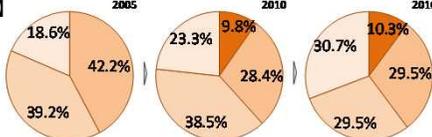
- 若年世代の受験者の増加により、**2級学科試験受験者総数も増加傾向に転じつつある**
- 平成18年度からの「学科試験」の早期受験化により、**合格を目指す高校が増加する等、高校在学中の受験が定着**

2級学科受験者数・年齢構成の推移

(学科試験：6種目計)



【年齢構成】



■ 18歳以下 ■ 18歳超30歳未満 ■ 30歳以上40歳未満 ■ 40歳以上

「学科のみ試験」の在学中受験者の高校数

【種目：土木】



【種目：建築】



※ 集計対象は、受験者5名以上の高校とし、2009年～2016年の間に統廃合等のあった学校は集計から除外して整理

平成29年度 年2回化の実施状況（種別「建築」）

	受験予定者数(種別「建築」)				
		対前年度比	うち「学科のみ試験」	対前年度比	
平成27年度		18,268	-	6,523	1.08
平成28年度		20,386	1.12	7,942	1.22
平成29年度	1回目	3,356	-	3,356	-
	2回目	19,104	-	8,283	-
	合計	22,460	1.10	11,639	1.47

「学科のみ試験」の年間受験者(のべ)が初の1万人超え

※ 紙面の都合上、直近3年度の実施状況を掲載
 種別「土木」については、2回目の試験の申込時期が12月のため、種別「建築」に関してのみ掲載